



## 勝山小6年生 親子防災授業 ～親子で溶岩流・火山灰を学ぶ～

10月31日(木)、勝山小で親子防災授業が実施されました。この授業は、富士山噴火に備えて、子どもだけでなく家族も一緒に噴火について学ぶ機会にしようという目的で実施されました。講師は、富士山科学研究所の先生方です。

授業のはじめに、6年生の理科を担当している渡邊達治先生から火山や溶岩について説明がありました。そして、



授業の様子



流れる方向を予想



液体を流して検証

もし富士山が噴火したら、溶岩はどこに流れるのか、勝山小や住んでいる家や地域は危ないのかを溶岩流実験で検証しました。実験後には、「もし自分たちの所へ溶岩流が流れてきたら、どのように命を守ればよいか」を子どもたちは家族と一緒に考えました。

授業のまとめでは、富士山科学研究所の吉本充宏研究部長より「火山は、現象によって避難の仕方変わってきます。まずは、SNSなどで拡散された虚偽の情報を信じず、公式の情報を得ることに気をつけましょう。」「いざという時に家族とどこで待ち合わせをするか、家族と決めておきましょう。そうすることで、自分も安心できます。」と話がありました。



吉本研究部長より

溶岩流実験の後には、噴火実験も行いました。開発された実験装置を使い、噴煙の広がり方や火砕流の様子を実験で見ることができました。

富士山の噴火は、経験したことがなく怖さがつきものですが、今回の授業で火山の特徴を知り、取るべき行動を考えることができました。備えがあれば安心できます。これから迎える冬休みの間に、家族でも話し合ってみてはいかがでしょうか。



噴火実験の様子

## 河口湖新倉掘抜がひらいた未来

### 小学4年生 水害や生活を守る“6つのトンネル”を学ぶ



町立教育センターでは、地域を生かした体験活動プログラムを行っています。10月から11月にかけては、町内の小学4年生を対象に河口湖新倉掘抜の学習を実施しました。

河口湖新倉掘抜は、河口湖の水を新倉村へ引くために176年もの時をかけてうそぶき山に沿って掘り抜いた全長3.8kmの日本最長の手掘りトンネルです。「なぜ、苦労してこのような手掘りトンネル工事を行わなければならなかったのか？」その後、「県庁隧道・東電うそぶき放水路・うそぶき治水トンネル・下水道・新倉河口湖トンネルはなぜつくられたのか？」これらの「なぜ？」を学ぶために、子どもたちは実際に現地へ足を運びました。

## <こんな学習をしました!!>

◎1・2時間目 「富士山の形と成り立ち」と「富士山の周りの地理的条件」を学ぶ

講師：富士山科学研究所 武井先生 持田先生

富士山噴火によって流れてきた溶岩の影響で、河口湖には水が入ってくる川はあっても水が出ていく川がありません。このような河口湖周辺の地形や川の様子を、子どもたちは映像を見ながら教わりました。そして、昔の河口湖の周りに住む人たちや新倉村に住む人たちの願いや思いを想像しながら、河口湖新倉掘抜が必要だった理由を考えました。



◎3～5時間目 河口湖新倉掘抜を含む6つのトンネルの見学

講師：町生涯学習課係長 文化財担当 杉本悠樹さん

### ①河口湖新倉掘抜(1866年完成)

全長 3.8kmの日本最長の手掘りトンネル。1回目の工事が1690年に始まるが失敗。3回目の工事で完成する。



掘抜の取水口跡に記念碑があります。そこで、杉本さんから詳しい説明を聞きました。

### ⑥新倉河口湖トンネル(2015年完成)

山梨県が河口地区と新倉地区を結ぶために作ったトンネル。移動時間短縮・渋滞緩和になった。



### ⑤下水道(1989年完成)

山梨県が生活排水を富士吉田市の下水处理場へ流すために作ったトンネル。



### ④うそぶき治水トンネル(1994年完成)

山梨県が河口湖・西湖の水害を防ぐために作ったトンネル。22t/秒の水が流れる。完成して以降、水害は起きていない。

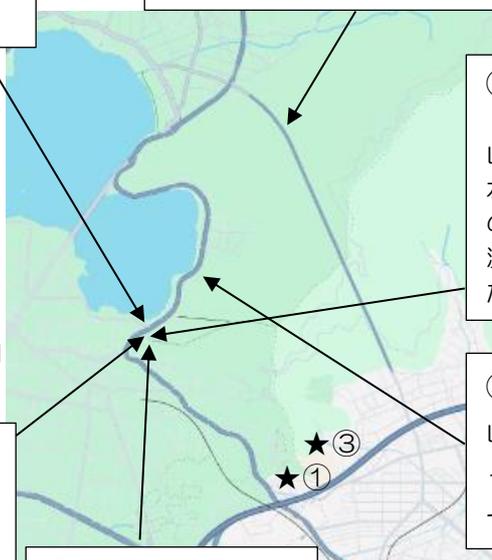
### ②県庁隧道(1913年完成)

山梨県が鉄道の技術を使って作ったトンネル。今は、米作りの時期だけ使われている。



### ③東電うそぶき放水路(1918年完成)

桂川電力(合併をして現東京電力)が水力発電のために作ったトンネル。船津・小立・勝山地区に水道ができるきっかけになる。



子どもたちは、河口湖新倉掘抜出口(★①)と東電うそぶき放水路の出口(★③)の見学もしました。見学を通して、河口湖新倉掘抜は長い年月の努力や苦労を重ねてできたこと、また先人の努力によってひらけた未来の中を自分たちが生活できていることを実感できたと思います。



出口見学の様子

### よいお年をお迎えください

1年間で1番長い2学期が終わろうとしています。子どもたちの頑張りをぜひ褒めていただきたいと思います。

教育センターでは、3学期も相談を受け付けています。困っていること、悩んでいることがありましたら、ご連絡ください。新年は1月6日(月)から開いています。

町立教育センター

☎ 0555-83-3022

